



<校訓> 自主自律

学校教育目標

自ら学び、共に生きようとする生徒の育成

《研究主題》豊かな心をもち、自ら学びに向かう生徒の育成

- ・豊かな感性と優しさをもつ、人間性あふれる生徒
- ・集団の中で他者と協働し、コミュニケーションを図りながら課題解決をめざす生徒
- ・明確なめあてをもち、自ら考え正しい行動のできる生徒

期待する生徒の姿

★生徒の実態

- ・あいさつがよく、明るく素直な言動・行動がとれる。
- ・集団の中で互いの良さに気づくことができる。共に伸びようとする気持ちが前面に出にくい。
- ・与えられたことにまじめに取り組む。自ら進んで取り組むことに苦手な生徒が多い。

★保護者・教師の願い

- ・心豊かで思いやりのあるあたたかい生徒
- ・規律正しく、何事にも自ら取り組もうとする生徒
- ・目標に向かって粘り強く取り組む生徒
- ・健康に留意し、体力づくりに励む生徒
- ・勤労を尊び、ふるさとを愛する生徒

<重点目標>

●共生●

他者に対する思いやりと感謝の心を持ち、コミュニケーションを図りながら集団の中でよりよい人間関係を築き、共に生きようとする生徒を育成する。

●確かな学力●

ユニバーサルデザインの視点に立ち、わかる授業の工夫に努め、生徒に学ぶ楽しさを味わわせ、確かな学力の定着を図る。

●豊かな心・健やかな体●

生徒理解を基盤とした心の教育と基本的な生活習慣の定着を図り、心身とも健康な生徒を育成する。

●信頼される学校●

地域との連携を密にし、地域とともに歩む信頼される学校づくりに努める。

◎温かな学級、好ましい人間関係の構築

- ・ポジティブ教育に全校体制で取り組む。
- ・集団内のルールとマナーを確立する。
- ・連絡ノートを有効に活用する。
- 道徳・人権教育の充実
 - ・学校教育全体での道徳・人権教育の推進。
- 教育相談、支援体制の充実
 - ・いじめ・不登校等対策として、「ちょっと聞いて」等、生徒の声を聞く機会を数多く設ける。週に1回生徒理解部会を開催し未然防止・早期対応・組織的対応を図る。
 - ・関係機関との連携を密に行う。
 - ・特別支援教育の充実。

◎引き出す・楽しむ教育の実践

- ・タブレット端末や ICT 機器を効果的に活用する。
- ・学習意欲が高まる学習課題の設定と授業展開の工夫をする。
- 個別最適な学習指導
 - ・各学力調査の分析を行い、生かす。
- 進路指導とキャリア教育の充実
 - ・進路に関する学習について、見通しを持った継続的な実践を行う。
- SDGs 教育の推進
 - ・SDGs を自分事として捉え、系統的に実践を行う。

◎生徒会活動、委員会活動の充実

- ・生徒が主体となつての東陽スマートルール、校則の改正・遵守を目指す。
- ・SNSに関する学習を実施する。
- ・委員会を機能させ、活動の活性化をめざす。
- ・あいさつ運動の推進と清掃の徹底を図る。
- 積極的な体力向上への取り組み
 - ・教科体育、部活動の充実を図る。
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・生徒保護者の安全・安心の確保
- SC、SSW と連携した不登校対応

◎ふるさと学習の充実

- ・体験等を通して地域の良さや課題を学ぶ学習を推進する。
- ・生徒の地域行事への積極的な参加を促し、地域の一員としての自覚を高める。
- 積極的な情報発信や学校公開
 - ・はぐくみ学級等で授業や行事を公開し、各種たよりやホームページ、ブログ等で生徒の活動の様子や学校の取組みを積極的に伝える。
- PTA との連携
 - ・保護者の意見や考えを教育活動に生かせるよう工夫する。
- 東陽 SC や地区公民館との連携

数値目標

- ・学校生活が楽しい 生徒90%
- ・温かな学級、学級満足度 生徒90%
- ・生徒アンケート「ちょっと聞いて」実施 5回以上
- ・思いやりをもって相手と接する 生徒90%
- ・いじめ問題解消 100%

数値目標

- ・UDの視点に立ち、ICT 機器等を活用したわかる授業の工夫に努める 教員90%
- ・生徒の自主的・主体的な取り組みを引き出す 教員90%
- ・授業がわかる 生徒90%
- ・授業に主体的に取り組む 生徒90%

数値目標

- ・東陽スマートルールを守る 生徒・保護者80%
- ・SNSに関する学習会 年間3回以上
- ・自らすすんであいさつ 生徒90%
- ・無言でまじめに清掃 生徒90%

数値目標

- ・体験を通したふるさと学習の推進 教員80%
- ・授業・部活動・行事の公開 年間2回
- ・保護者アンケートの実施 年間2回
- ・生徒の地域行事への参加 参加率平均70%

《業務改善の取組》部活動時間短縮、部活動地域移行の推進。業務はチームで対応し、効率化を図る。時程の工夫。超過勤務 80 時間以上の教職員 0。45 時間以下を 80%以上。